


事業概要【“集う・遊ぶ・憩う・発信する” ～海辺の多様なライフスタイルを生み出すお倉ヶ浜にぎわい創出拠点整備事業】

申請者	宮崎県日向市				初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	300,000千円 (300,000千円)
事業分野	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野（大項目） 地場産業支援関連事業分野
目的・効果	<p>・お倉ヶ浜ビーチを「サーフィンの聖地」から、多様な世代が心地よく過ごせる海辺の遊び場・交流の場へ進化させる。</p> <p>・「集う・遊ぶ・憩う・発信する」機能を持つ多彩なにぎわい拠点を整備し、滞在時間延長や交流人口拡大を促進。</p> <p>・利用者の行動変容を促し、年間を通じたにぎわい創出と観光消費の増加、地域経済の活性化、持続可能な観光地づくりを目指す。</p>					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR8年度事業費</small>	<p>【事業概要】 日向市における海辺の象徴的な地域資源「お倉ヶ浜ビーチ」を舞台に、従来のサーファー中心から多世代・多様な利用者層へとターゲットを広げ、家族連れや女性、若年層、外国人観光客も安心して楽しめる多彩なにぎわいの拠点を整備を行う。</p>					
	<p>【拠点整備事業】 ○お倉ヶ浜ビーチに『にぎわい創出拠点』を整備 300,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ビーチ交流拠点施設（にぎわいの主たる集客・滞留機能）」の新築 飲食・イベント・ワークスペース等、多世代が集う施設環境整備 ・「マリンレジャー拠点施設（ビーチ利用の受入・環境基盤機能）」の整備 既存ビーチハウスの活用による利用案内・安全管理機能の整理、排水処理の一体化による環境負荷軽減、施設内外空間の活用や視認性向上演出 ・駐車場の有料化に伴う設備整備 キャッシュレス対応パーキングシステム、EV充電設備、区画再編 ・防災・インバウンド対応強化 多言語デジタルサイネージ、防災情報発信、外国人案内表示充実 					
主なKPI <small>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①市全体における観光消費額（+19.25億円） ②お倉ヶ浜における観光入込客数（+9.4万人） ③ビーチ交流拠点施設での年間販売消費額（+960万円） ④にぎわい創出拠点利用者満足度（+90%） ⑤にぎわい創出拠点年間駐車場使用料収入（+1260万円） 				URL <small>※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</small>	https://www.hyugacity.jp/sp/display.php?cont=160822094103